

北の空の、星の動き方を教えて



北の空の星は、北極星を中心に、時計の針とぎゃく回りに、円をえがくように動いているのさ。

北の空に向き、方位磁石で真北を探し、高度が35度ぐらいの高さを探すと、ぼつんと見えるのが北極星です。6月の午後8時ごろなら、北極星の真上にさかさの北斗七星が見つかり、秋ごろには、北斗七星は西の地平線近くに見られます。

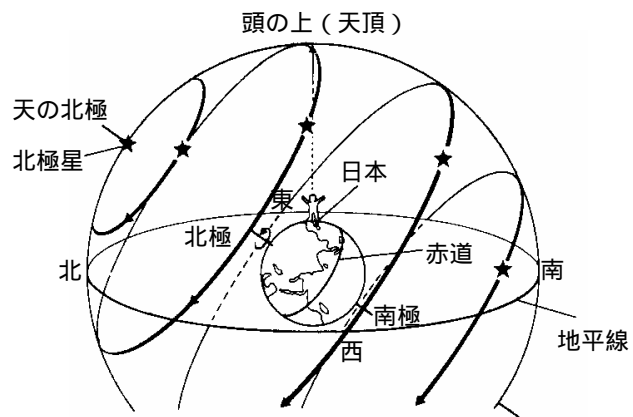
頭の上のほうにある星は、時刻が変わると、東から西の方へ動いて見えます。ところが、地平線近くにある北斗七星は、西から東へ動いて見え、北極星の上のほうにあるときの北斗七星は、東から西へ動いて見えます。

北斗七星の形と時刻による位置のちがいから、北の空では、北極星を中心に、時計の針とぎゃく回りに、星が動いているのがわかります。

地球の回転じくが北極星の方向を指しているのさ、北極星は動かない

星が動いて見えるのは、じつは地球が、こまのように回転しているからです。そして、その回転しているじくは、北極星の方向を指しています。かさのえを回してくるくる回転したとき、え（回転じく）は回転しますが、かさの位置は変わらないのと、よくにっています。

そのため、北極星はいつも動かないように見え、北極星のまわりの星は、北極星を中心に円をえがくように動いて見えるのです。



< 地球と星座の動き >

もっと知りたい人へ：「オリオン座とカシオペア座の動きを、教えて」も見てみよう。